



アカシジミ



モンキチョウ



シヤマカラスアゲハ



アイノミドリシジミ



ツマキチョウ



スジグロチャバネセリ

信州の蝶とその多様性

～チョウ類研究家、浜栄一氏の軌跡～

2020.3/31^①－9/27^②

(月曜休館、月曜祝祭日の場合は翌日)

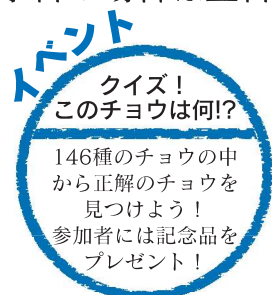
会 場：松本市山と自然博物館2階常設展示室

入館料：常設展示入館料（大人個人310円・団体200円、中学生以下無料）

講座「夏のチョウ類観察会～国蝶オオムラサキを見よう！～」

- (1) 日時 令和2年7月4日(土) 9:00～11:00
- (2) 会場 アルプス公園内
- (3) 講師 保科守宏氏、土田秀実氏(松本むしの会幹事)

お申込みは6月5日(金)から受付開始



クイズ！
このチョウは何!?

146種のチョウの中から
正解のチョウを見つけよう！
参加者には記念品を
プレゼント！



松本市山と自然博物館

〒390-0861 長野県松本市蟻ヶ崎 2455-1

TEL/FAX0263-38-0012

<http://matsu-haku.com/yamatoshizen/>

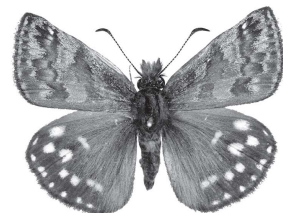
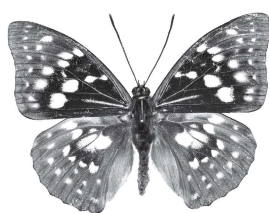
松本市山と自然博物館特別展

信州の蝶とその多様性

～チョウ類研究家、浜栄一氏の軌跡～

長野県は草原・森林・高山などの様々な環境を有することから、チョウの生息種数（多様性）は全国で最も多いと言われています。

この度、アマチュアのチョウ類研究家であった故・浜栄一氏のチョウ類標本が松本市に寄贈されました。浜氏の採集したコレクションから県内産のチョウ146種を展示、解説します。また、浜氏が残した研究ノートなど、氏の活動についても紹介します。



浜 栄一氏 昭和3年(1928年)～平成29年(2017年)



諏訪市生まれ。長野県職員として働くかたわらアマチュアのチョウ類研究家として活動。自宅のあった松本市を中心に長野県をフィールドとして採集・研究を行っていた。特にチョウの生態について野外で事細かく観察し、40冊以上にのぼる研究ノートを残している。県職を退職後は更に研究に力を入れるほか、長峰山「蝶の森づくり」や白金町会自然観察会の発足など環境保護・教育活動を行っていた。



共著：『信濃の蝶Ⅰ～Ⅴ』 『原色日本蝶類生態図鑑Ⅰ～Ⅳ』 など

展示資料、内容

- ・「信州のチョウ～浜栄一コレクション～」
(県内産のチョウ 146 種、200 箱、生態写真)
- ・浜氏の観察ノート
- ・浜氏が描いた点描画 ほか

